

北海道浮魚ニュース

令和7(2025)年度4号

2025年6月13日

道総研 釧路水産試験場

【URL】 https://www.hro.or.jp/fisheries/research/kushiro/topics/ukiuo_news.html

◎道東太平洋イカ類北上期資源調査結果

調査船・北辰丸により実施したスルメイカ資源調査の結果をお知らせします。

漁獲調査でのスルメイカの漁獲はみられなかった

調査期間：2025年5月28～31日

調査海域：道東太平洋（北緯41度線上の7調査点）

調査船：北辰丸（釧路水産試験場所属）、イカ釣機5台装備

調査方法：イカ釣機による夜間漁獲調査、CTDによる海洋観測

1. 水温環境（図1）

図1に各調査点の水温（表層・50m及び100m）とスルメイカのCPUE（2連式いか釣り機1台1時間あたり漁獲尾数）を示しました。海洋環境調査を実施した4調査点の表面水温は10.3～14.3℃（昨年5調査点11.3～19.9℃）、50m深水温は5.3～12.1℃（昨年9.1～20.0℃）、100m深水温は3.3～7.9℃（昨年7.4～19.0℃）で、いずれも全ての調査点で前年の同じ水深の水温を下回りました。スルメイカの分布の目安とされる「50m深水温で10℃以上」に達した点は釧路南方沖のSt.5のみでした。

なお、道総研水産研究本部では北海道周辺海域で2ヶ月ごとに3隻の調査船を用いた定期海洋観測を行い、水温及び流向流速について海況速報を発信しています。以下のURLで公開していますので、そちらも参照下さい。

<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/central/section/kankyousokuhou.html>

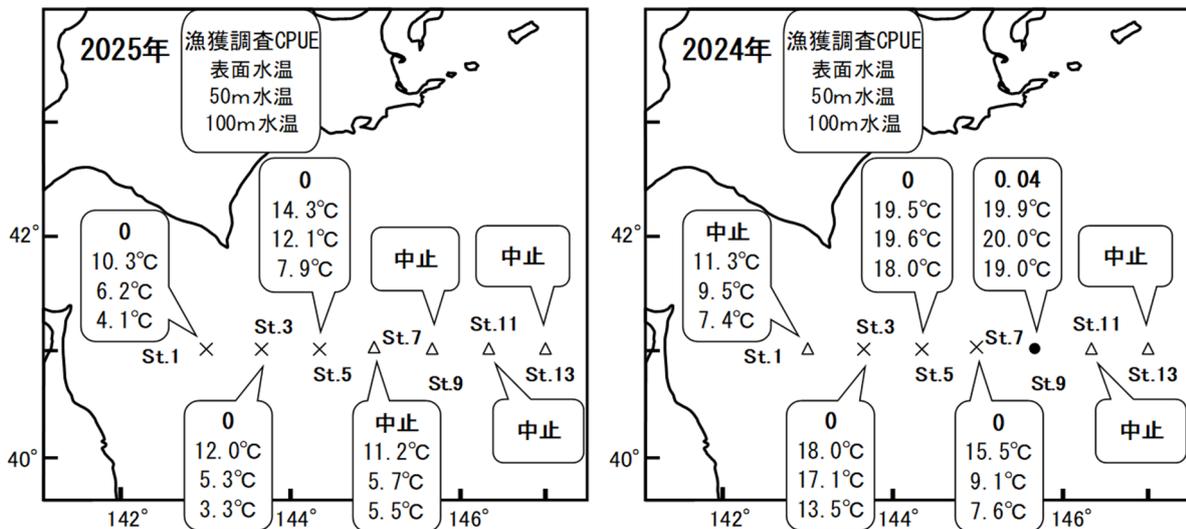


図1 各漁獲調査点でのスルメイカの漁獲調査結果と表面・50m・100m深水温（左：2025年、右：2024年）。●は漁獲あり。xは漁獲なし。△は漁獲調査中止

2. 分布密度 (図1~2、表1)

各漁獲調査のCPUEを基準としてスルメイカの分布密度を調べました。調査点7点のうち3点で漁獲調査を実施しましたが、3点すべてで漁獲がみられず(図1)、全調査点の平均CPUEは2018年に続く2回目の0(昨年0.010)となりました(図2)。漁獲調査中に十勝海域南方のSt. 3でスルメイカ小型個体の小規模な群が目視により観察されたものの、調査海域におけるスルメイカの来遊は低調であったと考えられます。

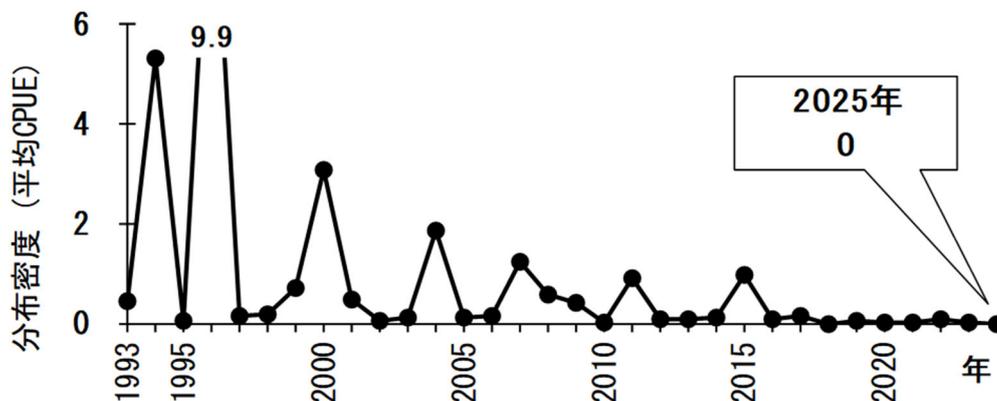


図2 イカ類北上期調査でのスルメイカの分布密度(平均CPUE)の経年変化

表1 2010~2025年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2010年 6/7~14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7~14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9~16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3~10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2~9	20	0.11	13-18	15	7
2015年 6/4~12	159	0.97	13-20	16	7
2016年 6/7~13	12	0.08	14-18	15-17	6
2017年 6/7~15	24	0.16	11-17	15	6
2018年 6/5~11	0	0.00	-	-	5
2019年 6/5~11	4	0.05	10-11	10,11	5
2020年 6/4~11	1	0.01	11	11	7
2021年 6/2~10	2	0.02	16, 24	16, 24	5
2022年 6/2~6	5	0.07	8-15	8-15	3
2023年 5/31~6/9	1	0.01	12	12	5
2024年 6/2~5	1	0.01	14	14	4
2025年 5/28~31	0	0.00	-	-	3

(釧路水産試験場調査研究部 TEL : 0154-23-6222、FAX : 0154-23-6225)